

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第二十回ディズニー・チャンネル/ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2013年04月19日(金) 17:30~18:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 5
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
戸田 奈津子
前田 耕作
山田 顕喜

その他、ディズニ : 編成部門担当者5名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「ジェシー！」
 - ・「トロン：ライジング」
 - ・「ファイ・ブレイン～神のパズル」

審議の概要

- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)
- ディズニー・チャンネルでは、4月15日の東京ディズニーリゾート開園30周年に合わせた特別編成を、15日から21日まで開催中。この期間中は、

スカパー!でチャンネルの無料放送を実施中。パークのアトラクションにゆかりのある映画を編成していて、番組の冒頭では、作品とパークの関連性を紹介する映像をオンエア。東京ディズニーランド 30 周年については、地上波でも取り上げて頂いているが、ディズニー・チャンネルならではの内容をお届けできていると思う。

- ディズニージュニアの番組としてご紹介した「ちいさなプリンセス ソフィア」は、ディズニー・チャンネルでも 4 月 27 日(土)18:00 にプレミア放送する。こちらは、5 月に放送するテレビシリーズの序章となる作品。その他、ディズニージュニアの時間帯においては、『ズーとたのしいシマウマかぞく』を 1 月に放送開始。
- ドラマ枠については、夜の 23:00 台には、『シークレット・アイドル ハンナ・モンタナ』の字幕版を編成。19:00 台にはキッズ向けでドタバタコメディのイメージを、22:00 台では青春・友情、初恋等の雰囲気を出して差別化している。
- 平日 15:30 には、新たにコメディ系のアニメーション『ジグとシャーコ』が放送開始。その他、アニメーション作品については、『怪奇ゾーン グラビティフォールズ』を月曜 17:30 と土曜 17:00 に編成。大変好評で、視聴率も高く、視聴者の方々からも早く新しいエピソードを見たいという要望が数多く寄せられている。
- 『フィニアスとファーブ』は相変わらずの人気。4 月 25 日から東京駅で物販キャンペーンを予定している。現在のところ、ディズニーストアでも関連商品の売れ行きは好調。LINE スタンプ(番組専用)も出る予定。
- ディズニー XD では、『トロン:ライジング』が 2 月から放送がスタートし、今月は『ファイ・ブレイン~神のパズル』も放送開始。オリジナルのアニメーション作品として、『学園忍者ランディ』も 4 月 27 日 11:00 より放送スタート。その他、3 月末には『ペンギンの問題』も放送開始。
- 今月の 8 日からは、夜 19 時台に、「メシドキ」という枠を設けて、自社作品をプロモーションして、育てていく予定。
- 5 月には、スパイダーマンの映画 3 作品を編成し、自社のマーベル作品と組んで盛り上げていきたい。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニー XD 放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニー XD 放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ジェシー!』について:

- 第1話の概要は、テキサスからやってきたジェシーは、NYで偶然ズーリという女の子に出会い、自分たちのベビーシッターをやらないかと持ちかけられる。彼女の家に行ってみると、子供たちが4人おり、彼らの国籍や人種は様々。彼らは、忙しい両親の注意を引こうとして、いつもベビーシッターを追いだしては困らせている。ジェシーも同じ目に遭うが、彼女が持つ明るさや自分たちに真摯に接する態度を見て、子供たちも両親も家族の大切さを思い出す、という内容。
- 第3シーズンまで制作が決定している。主演のデビー・ライアンは、米国のティーンに大人気。
- 女の子には良く分かり楽しめる内容だが、男性にはピンとこない部分もあるかもしれない。男女の笑いのツボにギャップがあるような印象。
- メインのターゲットがティーンの子であることや、テーマもファッションなど女の子向けのものが含まれるため、そのような印象もあるのかも。
- 4人の子供たちのチグハグな性格が非常に面白いと感じる（長女だけが実子で、3人の弟妹たちは人種も国籍も異なる）。
- 非常にアメリカ的な家庭の描き方ではあるが、そこに日本の子供たちが共感できるかどうか、疑問もある。
- 第1話では、人種も国籍も異なる3人の子供たちが家族になる経緯はまだ見えないが、後のエピソードでは、3人の子供が、養子になった日を祝う内容もある。
- 日本の社会は同じ民族が大多数のため、ピンとこない部分ではあるが、子供たちには、小さいころから、肌の色や国籍の違いがあっても差別することなく、みんなが平等であることを伝える必要があり、そういったテーマに沿った作品だと思う。
- 家族のドタバタ劇を楽しむ点でもこの作品は面白い。
- 今後の展開としては、ジェシーが、彼女の夢（女優になりたい）に近づくエピソードや、彼女の恋愛エピソードも出てくる予定。

『トロン：ライジング』について:

- 「グリッド」と呼ばれるデジタルの世界のアルゴンという平和な町に住む若いプログラムのベックは、ただのメカニックだったが、仲間が消去されたことをきっかけに、戦士としての才能に目覚める。彼はこの世界の伝説の英雄「トロン」に、その腕を見込まれて、後継者として鍛えられ成長していくことになる。
- この作品は、日本で制作されている。原語版では、イライジャ・ウッドや

マーク・ハミルなども声優として起用されている。

- スピーディーなゲーム感覚が、いまだきの男の子には面白い。新鮮な印象。色がシンプルでよかった。ただ、雰囲気的に、小さい子は怖さを感じそう。高校生くらいからが、面白いと感じるかもしれない。
- 先日のフィギュアスケートの国別対抗のエキシビションでは、この作品のキャラクターの衣装を着て演じる選手がいた。作品自体はかなり有名なのだと思う。
- 内容的には確かに、小さい子供には分かりにくい部分もあるかもしれない。原作となる映画も内容は子供には少々難しい。
- そもそも「プログラム」（現実世界の「人間」に相当する）というものが、何なのか分からなかった。
- 先月、この作品の立ち上げに合わせてキャンペーンを行い成功だったが、作品自体の認知度をさらに上げていきたい。

『ファイ・ブレイン～神のパズル』について：

- シリーズ全体の概要としては、パズルに関して天才的な才能を持つ少年の大門カイトが、ある組織からの招待を受けて、非常に難解なパズルに挑むことになる。そのパズルを解いたことにより、オルペウスの腕輪（脳を活性化させる機能を持つ）と「アインシュタインの称号」を得て、ファイ・ブレインの候補となる。彼はその後、学園の仲間たちと各地にある「賢者のパズル」を説いて回る、という内容。
- ストーリーの展開が速く、内容が少々分かりにくいと感じた。
- 迫力を感じる。 だが、なぜそのパズルが解けたのかなど、見ても分かりにくい部分があり、パズルを解くこと自体の面白さが伝わってこないと感じた。
- ゲームを見ているような印象を受けた。
- この作品は、少々年齢が上向きで難しい内容のため、編成をする上で、他の子供向け作品とバランスをとっていきたい。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので 18：30 に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。